



## 平成25年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年10月11日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション  
コード番号 1712 URL <http://www.daiseki-eco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実

TEL 052-611-6350

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	3,773		299		305		156	
24年2月期第2四半期								

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 172百万円 (%) 24年2月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	2,618.60	
24年2月期第2四半期		

(注) 平成25年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年2月期第2四半期の数値及び対前年同期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年2月期第2四半期	7,097		5,101		70.8	
24年2月期						

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 5,030百万円 24年2月期 百万円

(注) 平成25年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年2月期の数値は記載していません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期		0.00		600.00	600.00
25年2月期		0.00			
25年2月期(予想)				600.00	600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,211		569		551		322		5,378.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年2月期第1四半期連結会計期間より連結財務諸表作成会社となるため、対前期増減率は記載してありません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)  
詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」を参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期2Q	59,863 株	24年2月期	59,863 株
25年2月期2Q	株	24年2月期	株
25年2月期2Q	59,863 株	24年2月期2Q	59,863 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社は、第1四半期連結累計期間より連結決算を開始しております。  
・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で停滞していた経済活動に緩やかな回復の兆しが見えてきたものの、欧州の金融危機等海外経済の先行きへの懸念や長期化する円高、株価の低迷等依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況においても、不動産開発の停滞や民間設備投資の手控え等厳しい状況は続いております。一時期首都圏を中心に復調の兆しが見え始めたものの、その勢いは長続きせず、足元は一進一退の予断を許さない状況となっております。

このような背景のもと、土壌汚染調査・処理事業中心にリサイクル分野や環境分析分野への展開も積極的に進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,773百万円となりました。また、引き続き広範囲にわたる原価低減を進めてまいりました結果、利益面では営業利益299百万円、経常利益は305百万円、四半期純利益156百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (土壌汚染調査・処理事業)

部分的な動きではありますが、首都圏を中心にした不動産市況の緩やかな回復を下支えとし、引き続き営業体制の強化及びグループ会社間の連携強化による情報収集の強化を図り、新たな需要の開拓に注力してまいりました結果、売上高3,322百万円、営業利益380百万円となりました。

#### (廃石膏ボードリサイクル事業)

建設解体市場が概ね順調に推移した結果、売上高329百万円、営業利益68百万円となりました。

#### (その他)

廃バッテリー等の荷動きが堅調に推移したことにより、売上高201百万円、営業利益13百万円となりました。

なお、前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。（以下「(2) 連結財政状態に関する定性的情報」の「①資産、負債及び純資産の状況」及び「②キャッシュ・フローの状況」においても同じ。）

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,097百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりであります。

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,638百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金351百万円、売掛金及び受取手形1,162百万円であります。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は5,458百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産5,062百万円、投資その他の資産387百万円であります。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,650百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金435百万円、短期借入金853百万円であります。

##### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は344百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金139百万円、引当金111百万円であります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は5,101百万円となりました。その主な内訳は、資本金1,446百万円、資本剰余金1,242百万円、利益剰余金2,316百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローにつきましては、内部留保資金の充実を大前提としつつ、事業の安定的拡大に必要な投資を実行してまいりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、351百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益304百万円、減価償却費160百万円等により、総額で311百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出633百万円等により、総額で594百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済による支出101百万円、配当金の支払額35百万円等により、総額で169百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年7月12日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表のとおりであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、重要性が増したことにより、株式会社グリーンアローズ中部を連結の範囲に含めております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
 (平成24年8月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	351,479
受取手形及び売掛金	1,162,989
たな卸資産	68,003
その他	69,563
貸倒引当金	△13,775
流動資産合計	1,638,259
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	1,171,138
土地	3,259,938
その他(純額)	631,562
有形固定資産合計	5,062,639
無形固定資産	9,019
投資その他の資産	
その他	411,715
貸倒引当金	△24,615
投資その他の資産合計	387,099
固定資産合計	5,458,758
資産合計	7,097,017
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	435,690
短期借入金	853,472
未払法人税等	120,639
引当金	31,800
その他	209,235
流動負債合計	1,650,836
固定負債	
長期借入金	139,573
引当金	111,241
その他	93,516
固定負債合計	344,330
負債合計	1,995,167

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成24年8月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,446,921
資本剰余金	1,242,433
利益剰余金	2,316,611
株主資本合計	5,005,965
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	24,377
その他の包括利益累計額合計	24,377
少数株主持分	71,507
純資産合計	5,101,850
負債純資産合計	7,097,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	3,773,504
売上原価	3,079,108
売上総利益	694,396
販売費及び一般管理費	394,403
営業利益	299,992
営業外収益	
受取利息	6
受取配当金	1,650
スクラップ売却益	3,474
その他	4,419
営業外収益合計	9,550
営業外費用	
支払利息	3,567
その他	1
営業外費用合計	3,568
経常利益	305,973
特別損失	
固定資産売却損	1,307
特別損失合計	1,307
税金等調整前四半期純利益	304,666
法人税、住民税及び事業税	115,611
法人税等調整額	13,900
法人税等合計	129,512
少数株主損益調整前四半期純利益	175,154
少数株主利益	18,396
四半期純利益	156,757

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	175,154
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	△2,739
その他の包括利益合計	△2,739
四半期包括利益	172,415
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	154,018
少数株主に係る四半期包括利益	18,396

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成24年3月1日  
至 平成24年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	304,666
減価償却費	160,602
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△504
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,350
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,069
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,772
受取利息及び受取配当金	△1,656
支払利息	3,567
有形固定資産売却損益(△は益)	1,307
売上債権の増減額(△は増加)	57,842
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,299
仕入債務の増減額(△は減少)	△35,921
その他	16,063
小計	531,458
利息及び配当金の受取額	1,655
利息の支払額	△3,541
法人税等の支払額	△218,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	311,093
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△633,651
貸付けによる支出	△310
貸付金の回収による収入	60
その他	39,564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△594,337
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△25,000
長期借入金の返済による支出	△101,736
配当金の支払額	△35,595
少数株主への配当金の支払額	△1,656
その他	△5,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,301
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△452,544
現金及び現金同等物の期首残高	743,990
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	60,033
現金及び現金同等物の四半期末残高	351,479

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「土壌汚染調査・処理事業」と「廃石膏ボードリサイクル事業」の2つを報告セグメントとしております。

「土壌汚染調査・処理事業」は、土壌汚染の調査から浄化処理まで一貫して請負い、営業活動を含めた事業活動を一体的に行っております。また、「廃石膏ボードリサイクル事業」は、廃石膏ボードを選別・破碎・ふるい分け等により製造した石膏粉を石膏ボードメーカーに納品すると共に、石膏粉を主原料とした固化剤を製造、販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成24年3月1日至平成24年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調 査・処理事業	廃石膏ボー ドリサイクル 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,322,460	327,956	3,650,416	123,087	3,773,504	—	3,773,504
セグメント間の内部 売上高又は振替高	297	1,486	1,784	78,151	79,935	△79,935	—
計	3,322,758	329,443	3,652,201	201,238	3,853,440	△79,935	3,773,504
セグメント利益	380,876	68,820	449,696	13,597	463,293	△163,301	299,992

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△163,301千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。